

「住まう喜びを感じるまち 南魚沼市」を考える

多世代の市民全員が輝き 健康で快適に暮らせ 若者の期待に応えられるまち

【問合せ・申込み】 U&Iときめき課 ☎773-6659

移住に対する考え方、南魚沼市の認知度を調査しました

3月17日(出)、18日(日)にアウトドアブランドの株式会社モンベルが主催する「モンベルフレンドフェア横浜」にて、100人に対し、市の認知度やイメージ、移住に対する考え方について調査を行いました。今回はその一部を紹介します。



【市の認知度・イメージ調査】

市の認知度は100人中96人が「市を知っている」と回答し、「南魚沼でイメージするものは？」という質問にはほとんどの人が「米」「コシヒカリ」と回答しています。

また、「移住すると仮定して雪への不安がありますか？」との質問には「冬の交通状況が不安」や「豪雪時に食料が確保できるか不安」といった回答が8割を超えました。

これらの回答から、引き続き「整った除雪体制」や「雪国ならではの暮らしの魅力」などをPRし、移住に対する不安を払拭できるよう活動を行っていきます。

空き家バンク制度を活用しませんか？

市では、空き家を売りたい・貸したいと考えている人から物件を登録してもらい、利用を希望する移住者などへ紹介する制度を平成29年度から開始しています。少子高齢化などのさまざまな理由で空き家となった住宅が市内に増えています。空き家を有効活用することは、移住定住の促進や地域の活性化にもつながります。

まずは、右のQRコードからウェブサイトをご覧ください。



空き家バンク

空き家利活用のための補助金の募集を開始しました

空き家バンクへの物件登録を、「家財道具が残っていて登録できない」という理由であきらめていませんか？

空き家バンクに登録し、空き家を売却、賃貸しようとする人が家財道具などの処分を行う場合、その費用の一部を助成し、空き家の有効活用を促進します。

すてきな人、とっておきの場所をご紹介します



移住定住を促進するためには、市に住むよろこびや市の魅力を市外の人に向けて情報発信することが大切ですが、まだみなさんに知られていないすてきな人、魅力的な場所があるのではないのでしょうか？

市では「LMU」、「LIFE in」などの冊子の発行やウェブサイトを通じて発信していますが、さらに市の魅力を発見し市外の人にさまざまな方法で発信していきたいと考えています。

ぜひ、市に暮らす「すてきな人」「とっておきの場所」などの情報をお寄せください。



Life in



LMU